

記念講演

「世界一受けたい授業」でおなじみ!歴史のエキスパートが特別講義 『京都の歴史 知られざる舞台裏』

講師: 河合 敦 氏 歴史作家、多摩大学客員教授、早稲田大学非常勤講師

高校歴史教師歴27年!「世界一受けたい授業」でおなじみの河合先生に、新発見や研究によって進化する“京都の歴史”を、詳しく楽しく紐解いていただきます。

講師ご紹介



【プロフィール】

東京都出身。青山学院大学卒。早稲田大学大学院博士課程単位取得満期退学(日本史専攻)。高等学校教諭などの豊富な経験をもとに、執筆や講演活動のほか、「世界一受けたい授業」などテレビ出演も多数。第17回郷土史研究賞優秀賞、第6回NTTトーク大賞優秀賞を受賞。2018年雑学文庫大賞受賞(啓文堂主催)。近著『大久保利通 西郷どんを屠った男』『異説で読み解く明治維新』、初の歴史小説『窮鼠の一矢』等がある。

概要

【日時】 12月15日(土) 15:15~17:00
【会場】 本所 3階 講堂
【定員】 300人(先着順)
【問合せ】 会員部(梅影・永田) TEL 075-212-6413
お申込みはこちらのQRコードから



会議所ビル探訪ツアー

会頭室や特別応接室など、普段は公開していない本所ビル内を一挙公開!

武田五一設計の先代・商工会議所ビルから移築された大理石の柱や暖炉、京都の伝統産業の粋を集めた什器や内装など、レトロモダンな雰囲気が見どころの京都商工会議所ビル。会頭室や特別応接室など、普段はご覧いただけない部屋も公開します!ぜひともご覧ください。

概要

【日時】 12月12日(水)~14日(金)
10:00~16:00
15日(土) 10:00~18:00
※開催時間中は会場内を自由にご覧いただけますので、ご都合の良い時間にお越しください。
【会場】 本所 1、3階



3階 会頭室



3階 議員クラブ



1階 中庭

次ページで本所ビルの歴史と見所をご紹介します!

イベントスケジュール一覧

イベント	会場	12日(水)	13日(木)	14日(金)	15日(土)
キセキ展	3階 役員室、会頭室	10:00-16:00	10:00-16:00	10:00-16:00	10:00-18:00
掘り出し市	5階 特設会場	—	—	—	10:00-16:00
記念講演	3階 講堂	—	—	—	15:15-17:00
探訪ツアー	1、3階	10:00-16:00	10:00-16:00	10:00-16:00	10:00-18:00

閉館記念イベントに関するお問い合わせ 総務部 075-212-6400 kyoto@kyo.or.jp

130年の感謝を込めて京都商工会議所ビルを大開放!

入場無料
ご予約不要

会員感謝デー 京商ビル 閉館記念イベント 12月12日(水)~15日(土)

どなたでも
ご参加いただけます!
※15日開催の「記念講演」は
事前お申込みが必要です

明治150年京商のキセキ展



明治期から現在に至るまでの京都経済の動きを一挙にパネル展示!

150年前、明治の幕開けとともに京都の近代化が進められました。明治15年に経済人たちが設立した京都商工会議所は、京都経済の核として、時代時代に必要な役割を担い続けています。本展では京都経済と京都商工会議所が歩んできた軌跡をパネル展示で振り返ります。

主な展示内容

※変更になる場合があります。

- ・京都商工会議所の設立
- ・平安遷都1100年と内国勧業博覧会
- ・太平洋戦争と経済統制
- ・平安建都1200年
- ・知恵産業のまち・京都の推進

- ・琵琶湖疏水の建設
- ・第一次世界大戦と企業の変貌
- ・高度経済成長とライフスタイルの変化
- ・情報化の進展と産業構造の変化
- ・歴代会頭を一挙紹介 ほか

概要

【日時】 12月12日(水)~14日(金)
10:00~16:00
15日(土) 10:00~18:00
【会場】 本所 3階 役員室、会頭室



京商設立に関する資料(複製)



初代会長 高木文平



琵琶湖疏水 インクライン
(京都府立京都学・歴史館
京の記憶アーカイブより)



平安建都1200年記念事業
(平安建都1200年記念事業史より)

京商チャリティー掘り出し市

移転にともない、事務用品や記念品など200点以上を特別価格で大放!

事務用品の定番ハードカバーファイルや置時計、漆器のぐい呑など掘り出し物を多数ご用意。平安建都1200年公式グッズや、大阪万博(EXPO'70)のペーパーウェイトなどレアなお宝が見つかるかも!?

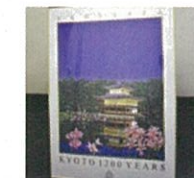
販売品(一部)

各種記念品、本所ノベルティ、レターケース、壁掛けホワイトボード、壁掛け時計などの小物什器、各種ファイル、ブックエンド、パンチなどの事務用品

イチオシ商品

平安建都1200年公式グッズ「ヒロヤマガタ アートポスター」 1,000円
中国製漆器 1,000円
事務用ハードカバーファイル 100円~
その他多数の商品をご用意してお待ちしております!

※売上金はすべて福祉団体に寄付いたします。



概要

【日時】 12月15日(土) 10:00~16:00
※商品がなくなり次第、終了します。
【会場】 本所 5階 特設会場

京都商工会議所ビルの変遷を辿る

<明治期の初代社屋>

京都商工会議所は、明治15年10月9日に河原町三条上ルで設立され、3年後の明治18年には烏丸夷川上ルへ移転。同所にあった建物を改築して事務所を設けた。



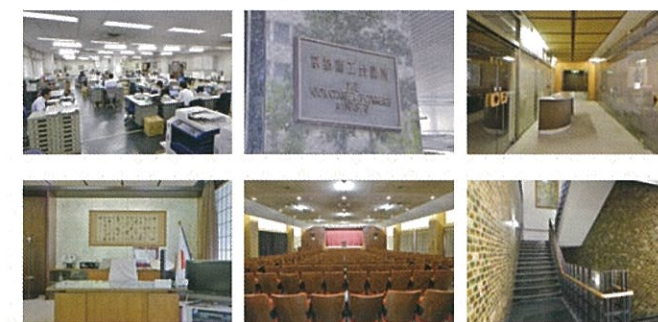
<大正3年竣工の二代目ビル>

ビル新築の計画が持ち上がるも、不況や金融恐慌などにより頓挫していたが、大正3年に完成。設計は「関西建築界の父」と言われる武田五一氏によるもの。



大理石を使用した近代建築の二代目ビル

<昭和39年竣工の三代目ビル>



地下1階地上6階建の三代目ビル。手前に見えるのは本所創立130周年記念の植樹

そして“京都経済百年の計”となる 京都経済センターへ...

2019年3月5日より、京都商工会議所は京都経済センター(四条室町)にて新たな一歩を踏み出します。



来春にオープンする京都経済センター(模型)

三代目ビル 建設秘話

昭和の時代になると、会議所事業の拡大にともない二代目ビルが手狭となり、建て替えが議論されるようになったが、その道は平坦ではなかった。昭和10年には建て替えの構想が生まれていたが、昭和12年に支那事変が、ついで太平洋戦争が勃発。戦中の物資不足により、ビルの建て替えどころではなくなった。終戦後も、景気過熱を抑制する建築制限が行われたことで、しばらくは建て替えに着手できなかった。

時代に翻弄された京商ビルの建て替えが決定したのは、昭和35年。構想が生まれてから四半世紀後のことであつた。そして、東京オリンピックに向けて日本全体がお祭ムードにそまつた昭和39年、ついに三代目京都商工会議所ビルが完成。設計は、二代目ビルの設計者である武田五一氏の孫弟子にあたる富家宏泰氏が手掛けた。

三代目京商ビルの見所をご紹介します!!

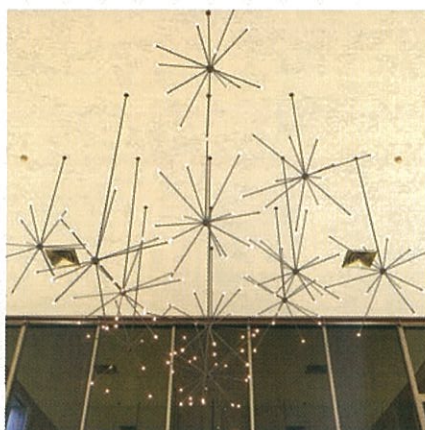
閉館記念イベント「会議所ビル探訪ツアー」にご参加いただき、
ぜひとも間近でご覧ください!



二代目ビルの遺構②「暖炉」
3階の特別応接室には、二代目ビルの暖炉が移築されている。暖炉として使用することはできないが、当時の重厚な造りが見て取れる。



二代目ビルの遺構①「大理石柱」
1階の北側玄関ロビーに鎮座するのは、二代目ビルの遺構となる大理石柱。三代目ビル設計者の富家氏が二代目ビル設計者の武田五一氏に敬意を払い残したものである。



中央ロビーの照明(シャンデリア)
モザイクによる十二支の真上には、特徴的な照明が。電球色の柔らかく優しい光でロビーを照らしている。



十二支のモニュメント
1階中央ロビーの床には、十二支のモニュメントが大理石のモザイクで描かれている。普段は喫茶店フロアとなっており全景を見ることができないが、閉館記念イベント中はテーブル等を撤去しご覧いただける予定。